



GJ-FH72,52,42 シリーズ 2ケーブル スピードドーム

インストレーションガイド

UD.6L0201D1710A02

当社の製品を購入していただきありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽に販売店にご連絡ください。

このマニュアルは HD-TVI スピードドームに適用されます。

このマニュアルには、技術的に間違った場所や印刷エラーが含まれている場合があります。内容は予告なしに変更されることがあります。アップデートは、このマニュアルの新バージョンに追加されます。マニュアルに記載されている製品または手順を容易に改善または更新します。

免責事項

Underwriters Laboratories Inc.(以下「UL」)は、本製品のセキュリティまたはシグナリングに関するパフォーマンスや信頼性をテストしていません。UL の安全規格 UL60950-1 に記載されているように、UL は火災、衝撃、または災害の危険をテストしています。UL 認定は、この製品のセキュリティまたはシグナリング面のパフォーマンスまたは信頼性をカバーしていません。UL は、本製品のセキュリティまたはシグナリング関連機能の性能または信頼性に関して、いかなる表明、保証または証明もしていません。

規制情報

FCC 情報

コンプライアンス担当者の明示的な承認を得ずに変更や改造を行うと、ユーザの機器操作権限が無効になる可能性があることに注意してください。

FCC 準拠:この装置はテスト済みであり、FCC ルール パート 15 に規定され、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール パート 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、LVD 指令 2014/35 / EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令): この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。 www.recyclethis.info





2006/66/EC (バッテリー指令): 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。 www.recyclethis.info

安全上の指示

これらの指示は、ユーザが製品を正しく使用して、危険や財産の損失を避けルータめのもので。予防措置は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告:これらの警告のいずれかが無視されると、深刻な傷害または死亡が引き起こされることがあります。

注意:これらの注意のいずれかが無視されると、傷害または装置の損傷が引き起こされる可能性があります。

	
警告 重大な怪我や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	注意 けがや重大な損傷を防ぐために、次の注意事項に従ってください。



警告:

- すべての電子操作は、電気安全規則、防火規則、および地域のその他の関連規則に厳密に準拠する必要があります。
- 通常の会社が提供する電源アダプターを使用してください。電源アダプターの規格は、24VAC±10%または12VDC±10%です(モデルによって異なります)。消費電力は必要な値より小さくすることはできません。
- アダプターの過負荷は過熱または火災の危険を引き起こす可能性があるため、複数のデバイスを1つの電源アダプターに接続しないでください。
- スピードドームの配線、取り付け、または取り外しを行う前に、電源が切断されていることを確認してください。
- 製品を壁または天井に設置する場合は、装置をしっかりと固定する必要があります。
- 機器から煙、異臭、異音が発生した場合は、すぐに電源を切って電源コードを抜いてからサービスセンターにご連絡ください。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにご連絡ください。スピードドームを分解しないでください。(不正な修理やメンテナンスに起因する問題については一切責任を負いません。)



注意:

- ドームを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。また、電磁波の強い放射にさらさないでください。振動のある場所や衝撃のある場所には機器を設置しないでください(機器の損傷を招く恐れがあります)。
- 極端に暑いところ、寒いところ、埃の多いところ、湿気の多い場所にドームを置かないでください。火災や感電の原因となります。使用温度については、スピードドームの仕様書を参照してください。
- 屋内用ドームカバーは、雨や湿気から保護してください。
- 機器を直射日光、換気扇、ヒーターやラジエーターなどの熱源にさらすことは禁じられています(無知は火災の危険を引き起こす可能性があります)。
- スピードドームを太陽や明るい場所に向けしないでください。そうでなければ、ブルーミングまたはスミアが発生してもよいが(これは故障ではない)、センサの耐久性に同時に影響を及ぼす。
- ドームカバーを開けるときは付属の手袋を使用し、ドームカバーの表面には酸性の汗がドームカバーの表面コーティングを侵食する可能性があるため、ドームカバーとの直接接触を避けてください。
- ドームカバーの内側と外側をきれいにするときは柔らかく乾いた布を使用し、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
- 赤外線ランプが点灯しているときに目を傷つけないように、赤外線 LED を目立たないようにしてください。
- 将来の使用のために、すべてのラッパーを開封して保管してください。何らかの障害が発生した場合は、元のラッパーを使用してスピードドームを工場に戻す必要があります。元のラッパーを使用しない輸送は、スピードドームの損傷を招き、追加コストを招く可能性があります。

内容

第 1 章 インストール	7
1.1 ケーブルの接続	7
1.2 DIP スイッチの設定	9
1.2.1 FH52 シリーズ スピードドームの設定	9
1.2.2 FH52 シリーズ IR スピードドームの設定	10
1.2.3 FH72 シリーズ IR スピードドームの設定	13
1.2.4 FH42 シリーズ ミニスピードドームの設定	16
1.3 配線とインストール	18
1.3.1 配線	18
1.3.2 ブラケットの取り付け	18
1.3.3 DIP スイッチの設定	19
1.3.4 スピードドームの取り付け	19
第 2 章 屋内取り付けアプリケーション	21
2.1 FH52 スピードドームのインシーリング取り付けアプリケーション	21
2.2 FH52 スピードドームの天井取り付けアプリケーション	24
2.2.1 取り付けブラケットの取り外し	24
2.2.2 配線	25
2.2.3 天井への取り付け	25
2.3 FH42 ミニスピードドームのインシーリング取り付け	28
2.3.1 FH42 ミニアナログスピードドームのインシーリング取り付け	28
2.3.2 FH42 ミニ IR スピードドームのインシーリング取り付け	30
2.4 FH42 ミニスピードドームの天井取り付けアプリケーション	33
2.4.1 配線	33
2.4.2 天井への取り付け	33
第 3 章 アプリケーションと操作	36
3.1 システムアプリケーション	36
3.2 基本操作	37
3.2.1 パトロールの設定	37
3.2.2 パークアクションの設定	40
第 4 章 トラブルシューティング	42

4.1 デバイスの異常.....	42
4.2 PTZ コントロールの異常.....	43
4.3 その他の質問.....	44

第1章 インストール

始める前に:

パッケージの内容を確認し、パッケージ内のデバイスの状態が良好で、すべてのアセンブリ部品が含まれていることを確認します。

アナログスピードドームを取り付ける方法はいくつかあります。以下では、壁取り付けを例に取り上げます。

1.1 ケーブルの接続

ケーブルを接続する前に電源を切ってください。

スピードドームのケーブルインターフェイスを次の図に示します。ケーブルは、異なる色によって区別されます。ケーブルに付いているラベルは識別のためのものです。

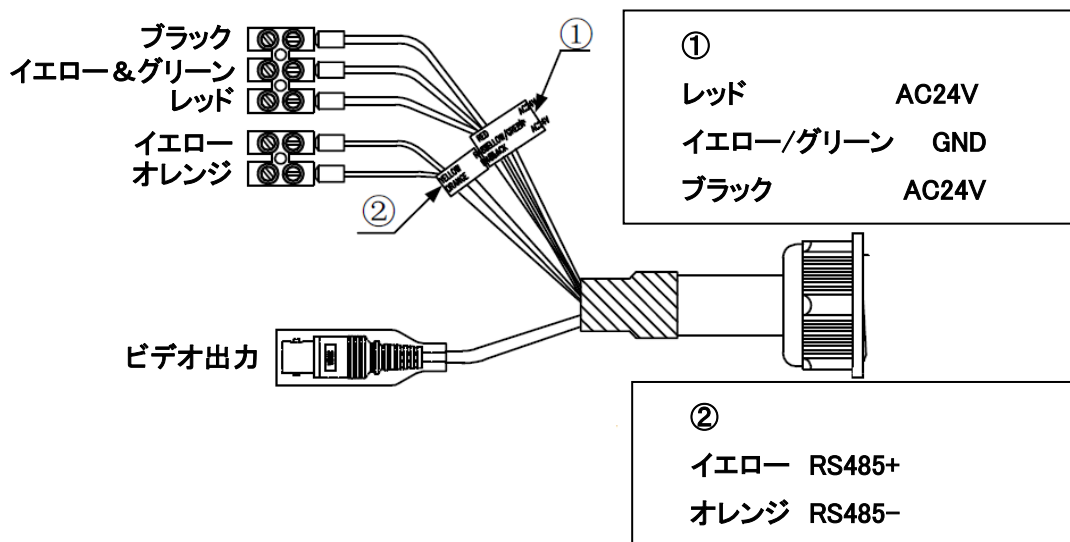


図 1-1 7 インチ IR スピードドームのケーブル

表 1-1 ケーブルの説明

名称	説明
AC24V	電源
RS485+/-	485 コントロール
ビデオ	同軸およびアナログビデオ出力

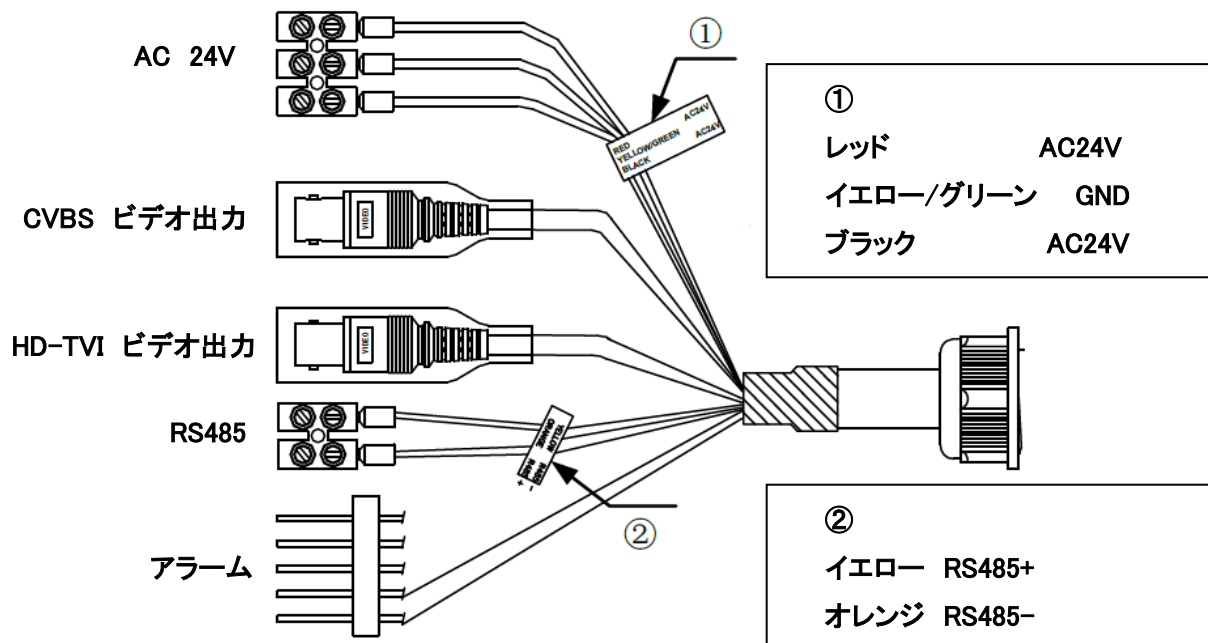


図 1-2 その他のスピードドームのケーブル

表 1-2 ケーブルの説明

名称	説明
AC24V	電源
RS485+/-	485 コントロール
CVBS ビデオ	SD アナログビデオ出力
HD-TVIビデオ	HD-TVI および同軸ビデオ出力
アラーム	2ch アラーム入力と 1ch アラーム出力

1.2 DIP スイッチの設定

1.2.1 FH52 シリーズ スピードドームの設定

DIP スイッチは、速度ドームのアドレスとボーレートを設定するために使用されます。値は ON = 1、OFF = 0 です。

1 番から 8 番までの SW1 スイッチを使用してアドレスを設定します。SW2 スイッチは、ボーレートを設定するために使用されます。



- デフォルトのドームアドレスは 0 です。デフォルトのボーレートは 2400 です。
- スピードドームは、Pelco-P、Pelco-D、および Private Code に自己適応型です。DIP スイッチで RS-485 制御プロトコルを設定する必要はありません。

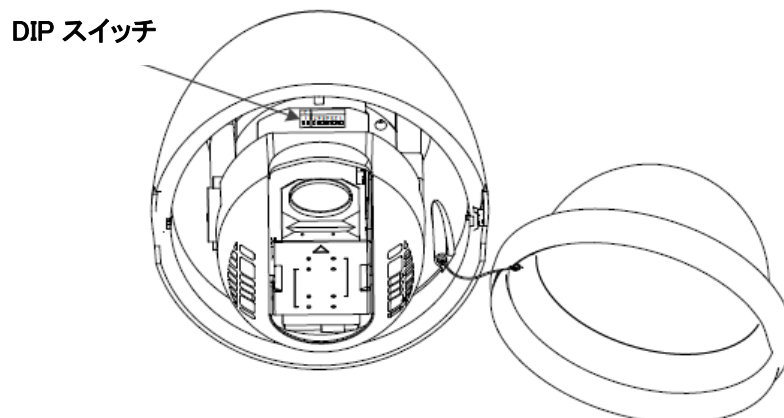


図 1-3 5 インチ屋外スピードドームの DIP スイッチ設定

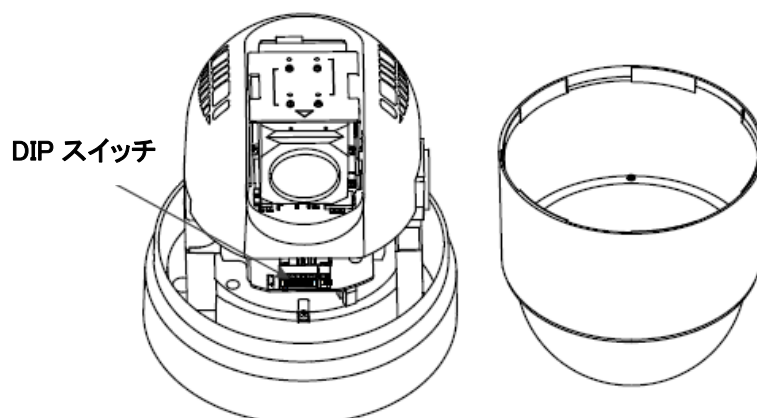


図 1-4 5 インチ屋内スピードドームの DIP スイッチ設定



図 1-5 DIP スイッチの拡大図

アドレス設定

SW1 スイッチは 1 から 8 の間でスピードドームのアドレスを設定するために使用されます。スピードドームのアドレスを特定の番号に設定する方法の詳細については、表 1-3 を参照してください。

表 1-3 ドームアドレスの設定

ドームアドレス \ スイッチ番号	1	2	3	4	5	6	7	8
0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
-	-	-	-	-	-	-	-	-
255	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

ボーレート設定

1 番と 2 番の SW2 スイッチはスピードドームのボーレートを設定するために使用されます。ボーレートは 2400bps、4800bps、9600bps、19200bps です。この範囲外の場合、ボーレートはデフォルトで 2400bps に設定されます。次の表を参照してください。

表 1-4 ドームのボーレートの設定

ボーレート \ スイッチ番号	1	2
2400	OFF	OFF
4800	ON	OFF
9600	OFF	ON
19200	ON	ON

1.2.2 FH52 シリーズ IR スピードドームの設定

DIP スイッチは、スピードドームアドレス、ボーレート、プロトコルなどを値 ON = 1 および OFF = 0 で設定するためのスイッチです。スイッチのラベルは、図 1-6 に示すように、SWITCH カバーの背面にあります。

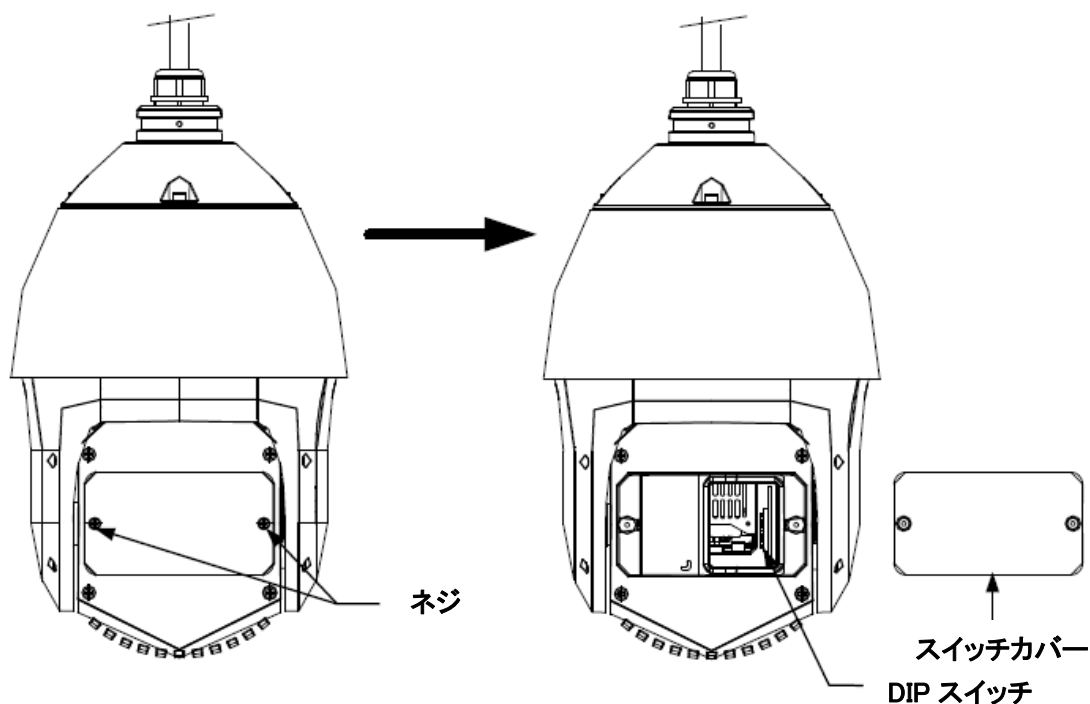


図 1-6 5 インチ IR スピードドーム用 DIP スイッチの位置



図 1-7 DIP スイッチの拡大図



- 一部のモデルでは、図 1-7 の左側の 2 つの個別の DIP スイッチがターミネータのオン/オフをサポートしています。他のモデルはサポートされていません。
- デフォルトのドームアドレスは 0 です。デフォルトのボーレートは 2400 です。120Ωターミネータのデフォルト値は OFF です。

表 1-5 スイッチ機能

スイッチ	機能
1~5	スピードドームのアドレスを設定する
6,7	スピードドームのボーレートを設定する
8,9	スピードドームのプロトコルを設定する
10	予備

DIP スイッチは、バイナリシステムに従って設計されます。スイッチがオンの時は番号 1 を表します。スイッチがオフの時は番号 0 を表します。

例:

1 番から 5 番までのスイッチを使用してスピードドームアドレスを設定します。1 位が最も低い数

字で、5 位が最も高い数字です。これらの 5 つのスイッチをすべてオンにすると、2 進数 11111 が表示されます。11111 を 10 進数に変換すると、31 になります。したがって、スピードドームのアドレスは 31 になります。

アドレス一覧

便利な設定のために、以下のリストを参照してスピードドームのアドレスを設定してください。

表 1-6 ドームアドレス

ドームアドレス \ スイッチ	1	2	3	4	5
0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
5	ON	OFF	ON	OFF	OFF
6	OFF	ON	ON	OFF	OFF
7	ON	ON	ON	OFF	OFF
8	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
9	ON	OFF	OFF	ON	OFF
10	OFF	ON	OFF	ON	OFF
11	ON	ON	OFF	ON	OFF
12	OFF	OFF	ON	ON	OFF
13	ON	OFF	ON	ON	OFF
14	OFF	ON	ON	ON	OFF
15	ON	ON	ON	ON	OFF
16	OFF	OFF	OFF	OFF	ON
17	ON	OFF	OFF	OFF	ON
18	OFF	ON	OFF	OFF	ON
19	ON	ON	OFF	OFF	ON
20	OFF	OFF	ON	OFF	ON
21	ON	OFF	ON	OFF	ON
22	OFF	ON	ON	OFF	ON
23	ON	ON	ON	OFF	ON
24	OFF	OFF	OFF	ON	ON
25	ON	OFF	OFF	ON	ON

26	OFF	ON	OFF	ON	ON
27	ON	ON	OFF	ON	ON
28	OFF	OFF	ON	ON	ON
29	ON	OFF	ON	ON	ON
30	OFF	ON	ON	ON	ON
31	ON	ON	ON	ON	ON

ボーレートルスト

設定を便利にするために、以下のリストを参照してスピードドームのボーレートを設定してください。この範囲外の場合、ボーレートはデフォルトで 2400bps に設定されます。

表 1-7 ボーレート

ボーレート	スイッチ	
	1	2
2400	OFF	OFF
4800	ON	OFF
9600	OFF	ON
19200	ON	ON

プロトコル一覧

設定を便利にするために、以下のリストを参照してスピードドームのプロトコルを設定してください。

表 1-8 プロトコル

プロトコル	8	9
Self-adaptive	OFF	OFF
Pelco_D	OFF	ON
Pelco_P	ON	OFF
AD Manchester	ON	ON



スピードドームは、No.8 と 9 のスイッチが両方ともオフのときにプライベートプロトコルに自己適応します。

1.2.3 FH72 シリーズ IR スピードドームの設定

2 つの DIP スイッチ SW1 および SW2 は、スピードドームアドレス、ボーレート、プロトコルなどを値

ON = 1 および OFF = 0 で設定するためのものです。図 1-8 に示すように、スイッチのラベルは SWITCH カバーの背面にあります。

スイッチの各番号は DIP 値を表し、1 から 8 までの範囲で、最低から最高までです。

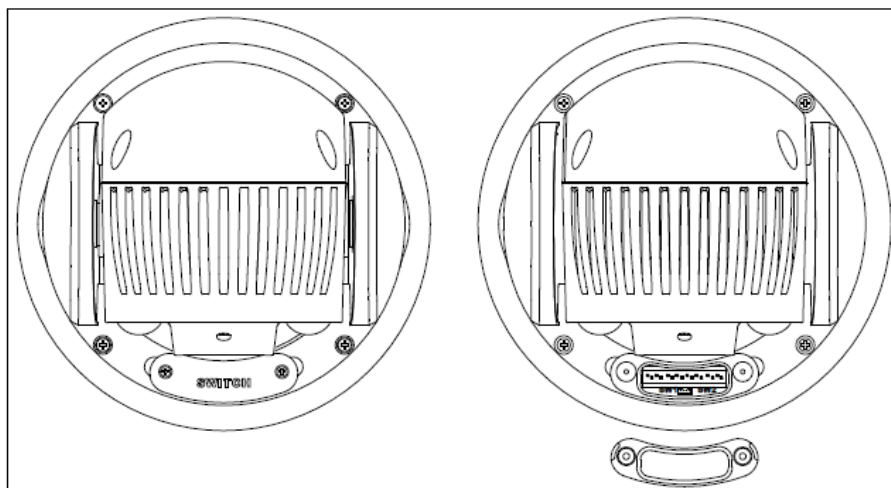


図 1-8 IR スピードドーム用 DIP スwitch のラベル



図 1-9 DIP スwitch の拡大図



デフォルトのドームアドレスは 0 です。デフォルトのボーレートは 2400 です。120Ωターミネータのデフォルト値は OFF です。

アドレス設定

SW1 スwitch はスピードドームのアドレスを設定するために使用されます。スピードドームのアドレスを特定の番号に設定する方法については、表 1-9 を参照してください。

表 1-9 ドームアドレスの設定

ドームアドレス	1	2	3	4	5	6	7	8
0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
-	-	-	-	-	-	-	-	-
255	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

ボーレート設定

SW2 スイッチの 1,2,3 番はそれぞれ 2400bps、4800bps、9600bps の速度ドームのボーレートを設定するためのものです。この範囲外の場合、ボーレートはデフォルトで 2400bps に設定されます。次の表を参照してください。

表 1-10 ドームのボーレートの設定

DIP スイッチ SW2-ボーレートの設定			
ボーレート	1	2	3
2400	ON	OFF	OFF
4800	OFF	ON	OFF
9600	ON	ON	OFF
19200	OFF	OFF	ON

プロトコル設定

スピードドームは、DIP スイッチで設定できない PELCO-D、PELCO-P、プライベートプロトコルに自己適応型です。

通信モードの設定

SW2 スイッチの7番は、ドームの RS485 通信モードを片面または半二重に設定するスイッチです。

表 1-11 ドームの通信モードの設定

DIP スイッチ SW2-片面/半二重の設定	
説明	7
片面	OFF
半二重	ON

終端抵抗の設定

SW2 スイッチの8番は、120Ω終端抵抗の ON / OFF に使用します。

表 1-12 端抵抗の設定

説明	スイッチ番号	8
抵抗をオンにする		OFF
抵抗をオフにする		ON



スイッチカバーの溝にある O リングは防水用です。

1.2.4 FH42 シリーズ ミニスピードドームの設定

- ミニ IR スピードドームの DIP スイッチの位置

手順:

1. 図 1-10 のようにスイッチカバーを取り外します(左)。
2. DIP スイッチでアドレスとボーレートを設定します。
3. スイッチカバーをスピードドームに戻して取り付けます。

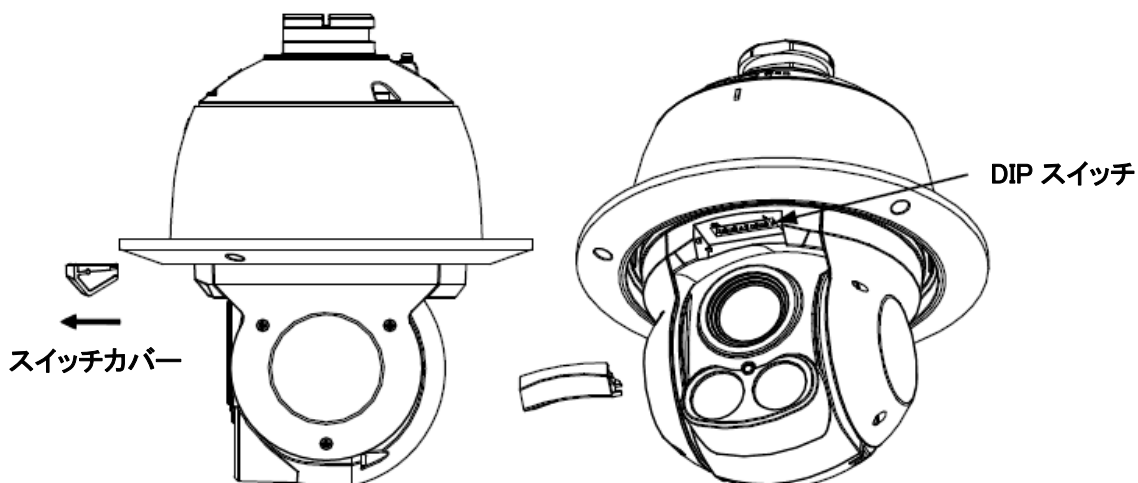


図 1-10 ミニ IR スピードドームの DIP スイッチ

- ミニアナログスピードドームの DIP スイッチの位置

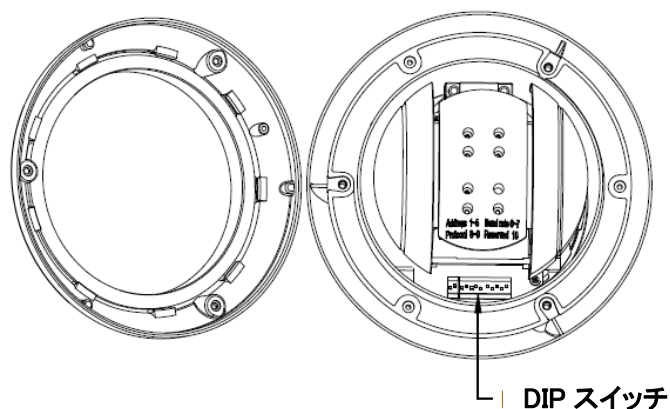


図 1-11 ミニアナログスピードドームの DIP スイッチ

- DIP スイッチの設定



図 1-12 DIP スイッチの拡大図



DIP スイッチの設定方法は、5 インチ IR スピードドームと同じです。詳しくは、「1.2.2 5 インチ IR スピードドーム設定」を参照してください。

1.3 配線とインストール

スピードドームを取り付ける方法はいくつかあります。以下では、壁取り付けを例に取り上げます。

1.3.1 配線

安全で安定した電源供給と妥当な配線ルートを提供するために、実際の設置環境の調査と配線の計画は、配線の正確な配置が実施される前に強く推奨されます。

- 配線距離、周囲、電磁干渉などを含め、配線を展開する前にインストール環境に精通してください。
- 非常電圧の場合に正常に動作するように、実際の電圧よりも高い定格電圧のケーブルを選択してください。
- 電源ケーブルと信号伝送ケーブルを人為的な損傷から保護するためには、ケーブルの保護と強化に注意する必要があります。
- ワイヤを展開するときは、ワイヤを締めたり、ワイヤを緩めたりしないでください。

スピードドームの配線は、専門家が行う必要があります。

1.3.2 ブラケットの取り付け

始める前に:

ウォールマウントは、屋外/屋内の固体壁構造にも適用可能です。ウォールマウントの必須条件は次のとおりです。

- 壁は、拡張ネジを取り付けるのに十分な厚さでなければなりません。
- 壁がドームとマウントの重量の8倍以上に耐えられるほど強固であることを確認してください。

手順:

1. 下の図のように、ブラケットの種類と付属品の数が正しいかどうかを確認してください。

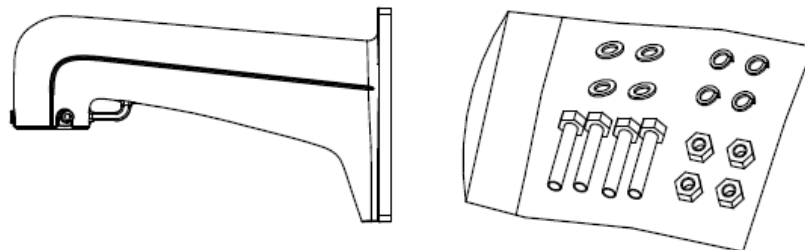


図 1-13 ウォールマウントブラケット、ナット、フラットワッシャ

2. マウントの穴に合わせて4つのネジ穴を壁にドリルし、M8 拡張ネジ(付属していません)を取り付け穴に挿入します。

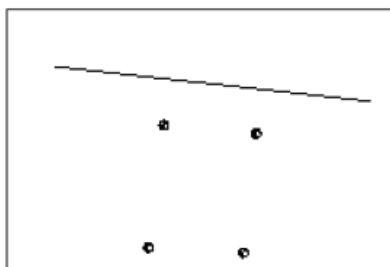


図 1-14 ドリル取り付け穴

3. マウントの 4 つのネジ穴を壁の拡張ネジに合わせて、壁面マウントを壁に取り付けます。
4. 4 つの六角ナットとワッシャーでウォールマウントを固定します。

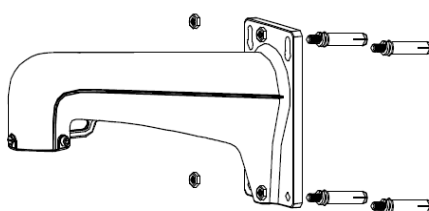


図 1-15 マウントの固定

5. スピードドームをマウントに取り付けます。インストールの詳細については、「1.3.4 スピードドームのインストール」を参照してください。



ショートアームの壁面取り付けについて前述したのと同じ手順に従ってください。屋外での使用には、防水対策を施してください。ショートアームウォールマウントは屋外用途には推奨されません。

1.3.3 DIP スイッチの設定

スピードドームのアドレスとボーレートを設定します。DIP スイッチのデフォルト値は次のとおりです。

- ◆ アドレス:0
- ◆ ボーレート:2400
- ◆ 終端抵抗:OFF

DIP スイッチの設定については、1.2 節 DIP スイッチの設定を参照してください。

1.3.4 スピードドームの取り付け



スピードドームを設置するためのスケッチは参考用です。

手順:

1. 安全ロープをスピードドームに掛け、図 1-16(左)に示すようにマウントに引っ掛けます。
2. スピードドームのケーブルを壁面マウントに通します。
3. 対応するビデオ/電源/RS-485 ケーブルを接続します。
4. スピードドームをマウントに取り付け、スピードドームを時計回りに回してスピードドームを固定します。
5. 図 1-16(右)に示すように、六角レンチで2本の固定ネジを締めます。

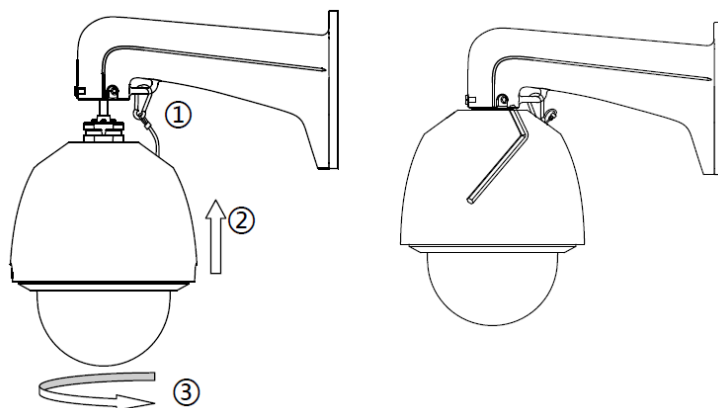


図 1-16 スピードドームの取り付け

第2章 屋内取り付けアプリケーション

始める前に

- セメントの壁の場合は、マウントを固定するために拡張ネジを使用する必要があります。壁面の拡張パイプの取り付け穴は、マウントの取り付け穴に合わせてください。
- 木製の壁の場合は、タッピングねじを使ってマウントを固定するだけです。

2.1 FH52 スピードドームのインシーリング取り付けアプリケーション

始める前に:

インシーリング取り付けは屋内天井構造に適用されます。以下は取り付けのために必須の前提条件です。

- 天井の上のスペースの高さは 250mm 以上でなければなりません。
- 天井の厚さは 5~40mm の範囲でなければなりません。
- 天井は、ドームと付属品の重量の 4 倍以上に耐えられるほど強くなければなりません。

手順:

1. 下のドームを反時計回りに回して、図 2-1 に示すようにバックボックスから分離します。
2. 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーをドームドライブから取り外します。
3. アナログスピードドームのアドレスとボーレートを設定します。DIP スイッチの設定については、「1.2.1 5 インチスピードドームの設定」を参照してください。
4. 後ろのボックスに下のドームを取り付け、時計回りに回して固定します。

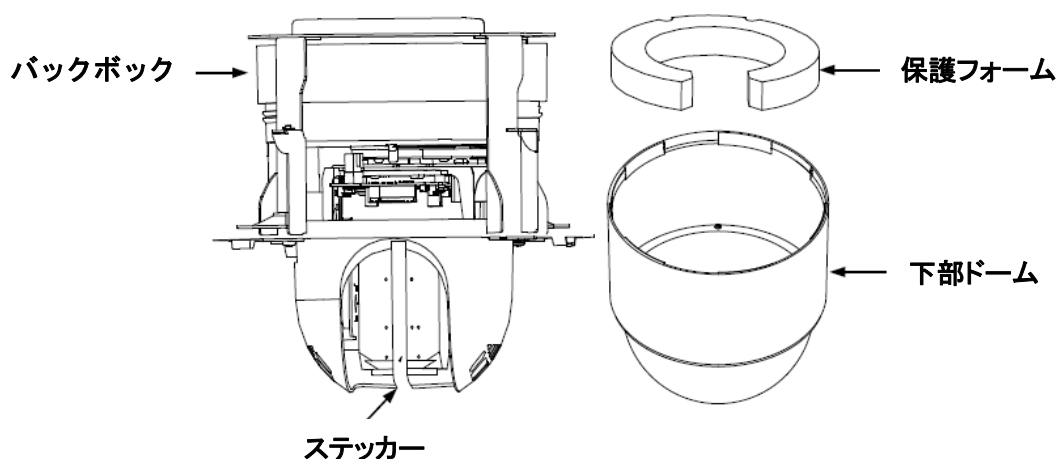


図 2-1 保護用アクセサリの取り外し

5. ドリルプレート(付属)に従って、天井に穴を開けます。



円の直径の±2mm は許容される。

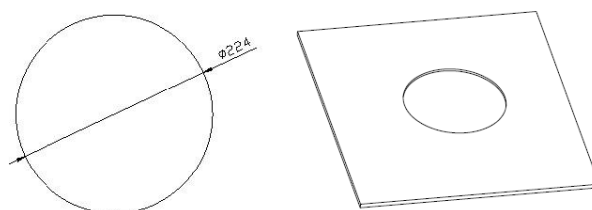


図 2-2 天井の穴の描画と切り取り

6. ケーブルを接続します。

ビデオケーブルとコントロールワイヤが対応するインターフェイスに接続されていることを確認します。電源ケーブルを接続すると、電源がオンのとき赤い LED インジケータが点灯します。



スピードドームを確認してから電源を切ってください。

7. スピードドームを取り付けます。

(1) 次の図に示すように、バックボックスの両側にある 2 つのロックネジを緩め、ロックを内部の位置に合わせます。

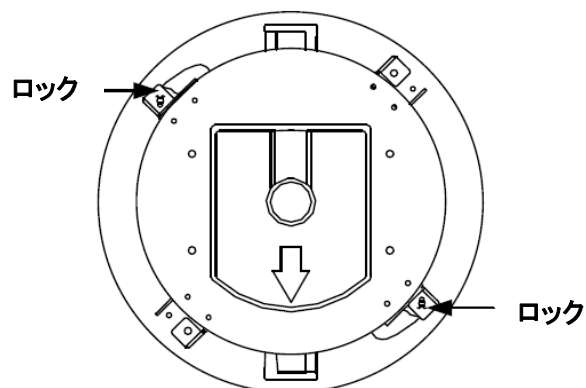


図 2-3 ロックおよびロックネジ

(2) バックボックスを天井の取り付け穴に押し込みます。

(3) ドライバーでロックネジを締めると、ロックが自動的に外側に回転して、インシーリング取り付けが天井に固定されます。

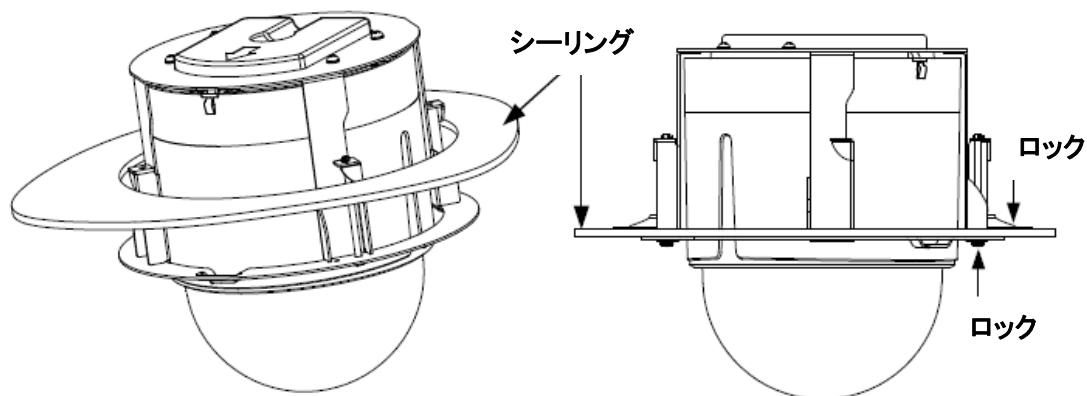


図 2-4 バックボックスのインストール

8. トリムリングを取り付けます。
- (1) トリムリングを下部ドームに取り付け、トリムリングの三角ノッチをインシーリング取り付けの矢印ラベルに合わせます。
 - (2) トリムリングを天井にしっかりと取り付けたら、トリムリングを矢印の方向に回転させて、トリムリングを所定の位置に固定します。



- 取り付けが完了したら、下部ドームの保護フィルムを取り外してください。
- 鮮明なビデオ画像を得るために、スピードドームを取り付けるときは静電気防止手袋を着用してください。

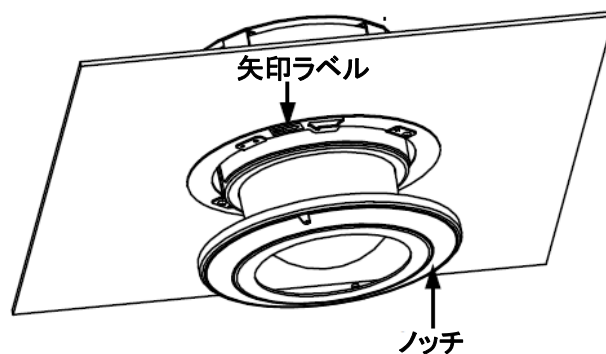


図 2-5 トリムリングの取り付け

2.2 FH52 スピードドームの天井取り付けアプリケーション

始める前に:

天井取り付けは屋内/屋外の天井構造に適用されます。天井取り付けの必須条件は次のとおりです。

- 天井の厚さは 5~40mm の範囲でなければなりません。
- 天井は、ドームと付属品の重量の 4 倍以上に耐えられるほど強くなければなりません。

2.2.1 取り付けブラケットの取り外し

天井取り付け作業の前に、インシーリング取り付けのスピードドームの外部構造を変更する必要があります。

手順:

1. プラスボックスのネジでバックボックスの 4 本のネジを外します。

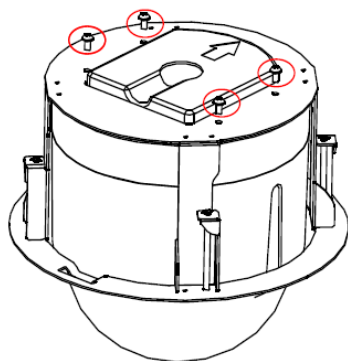


図 2-6 4つのネジを外す

2. インシーリング取り付け用ブラケットを取り外します。

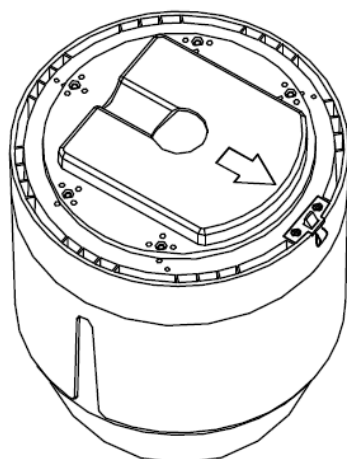


図 2-7 インシーリング取り付け用ブラケットの取り外し

3. プラスドライバーでバックボックスに 4 本のボルトをねじ込みます。

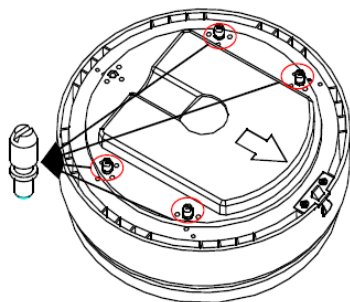


図 2-8 ボルトの取り付け

2.2.2 配線

ドームのケーブルは、バックボックスの上面または側面から配線することができます。バックボックスの上部から配線されたケーブルの場合、ケーブル穴を天井にドリルする必要があります。

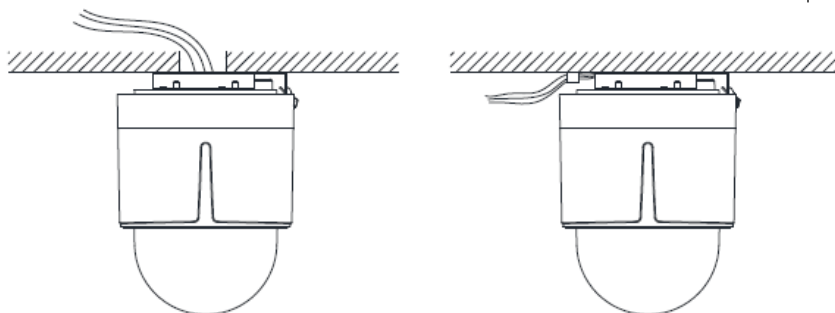


図 2-9 天井へのケーブル接続

2.2.3 天井への取り付け

手順:

1. 下部のドームを反時計回りに回して、バックボックスから分離します。図 2-1 を参照してください。
2. 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーをドームドライブから取り外します。
3. アナログスピードドームのアドレスとボーレートを設定します。DIP スイッチの設定については、「1.2.1 5 インチスピードドームの設定」を参照してください。
4. 後ろのボックスに下のドームを取り付け、時計回りに回して固定します。
5. テンプレートとして取り付けベースを使用して、4 つのネジ穴を天井にマークします。
6. 背面ボックスの上部からケーブルを配線する場合は、ケーブルの穴を天井にマークし、穴を開けます。

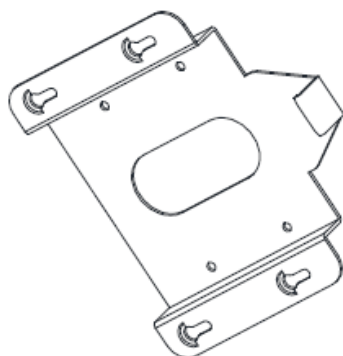
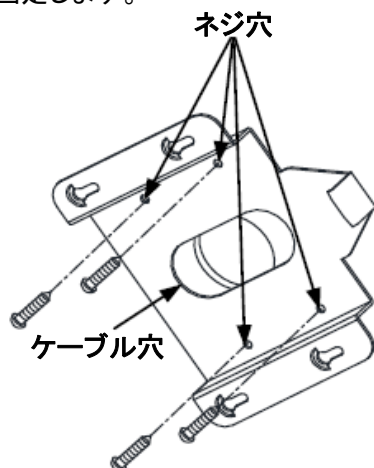


図 2-10 ネジの位置をマークする

7. 取り付けネジを使用して、取り付けベースを天井に固定します。
 - スピードドームが木製の壁に取り付けられている場合は、タッピングねじを使用して取り付けベースを固定します。
 - ドームがセメント壁に取り付けられている場合は、穴の位置に合わせて壁に 3 つのΦ5 取り付け穴をドリルし、穴にセメントネジを差し込み、最後にセルフタッピングネジを使用して取り付けベースを壁面に固定します。



8. スピードドームを取り付けベースに取り付けます。
 - (1) スピードドーム用のケーブルを配線します。スピードドームの底部を取り付けベースに合わせます。
 - (2) 矢印の方向を取り付けベースのスプリング端に合わせます。
 - (3) スピードドームを上方に押し、次に矢印の方向に前方に押します。スピードドームが定位置に置かれると、スプリングが自動的にロッククリップにしっかりとスナップします。次の図を参照してください。

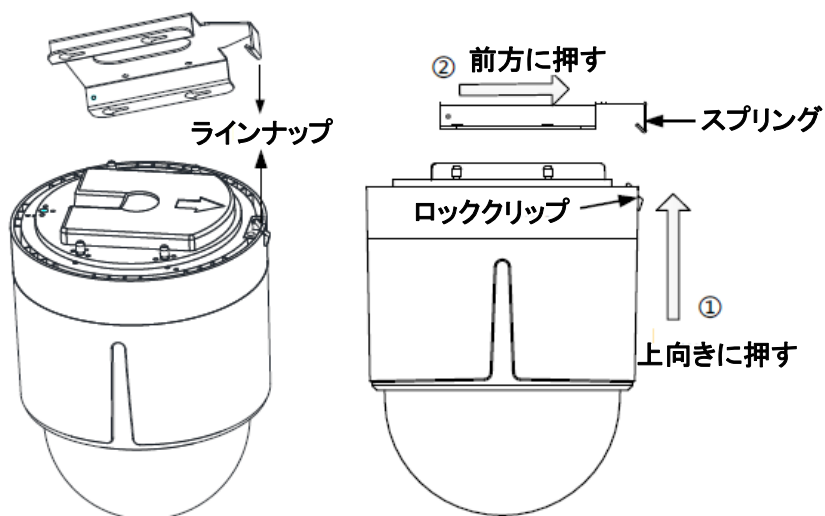


図 2-12 バックボックスを取り付けベースに取り付ける



- 取り付けが完了したら、下部ドームの保護フィルムを取り外してください。
- 手で直接下のドームのバブルに触れないでください。それ以外の場合は画像がぼやけます。

2.3 FH42 ミニスピードドームのインシーリング取り付け

2.3.1 ミニアナログスピードドームのインシーリング取り付け

始める前に:

インシーリング取り付けは屋内天井構造に適用されます。マウントするための必須条件は次のとおりです。

- 天井の上のスペースの高さは 250mm 以上でなければなりません。
- 天井は 5~40mm の厚さでなければなりません。
- 天井は、ドームと付属品の重量の 4 倍以上に耐えられるほど強くなければなりません。

手順:

1. 天井に穴を開けます。
 - 1) スピードドームを取り付ける必要がある天井にドリルテンプレートを取り付けます。
 - 2) 穴をカットし、ドリルテンプレートに従ってネジ穴をドリルします。



円の直径の±2mm は許容される。

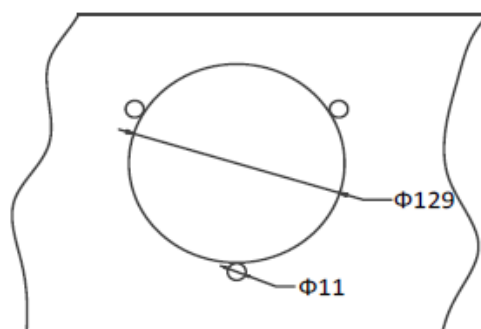


図 2-13 ドリル穴

2. スピードドームを分解してください。
 - 1) 次の図に示すように、3 本のネジを緩めます。
 - 2) 下部のドームを取り外します。
 - 3) ネジ 3 本を緩めて、バックボックスを取り外します。
 - 4) 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーをドームドライブから取り外します。

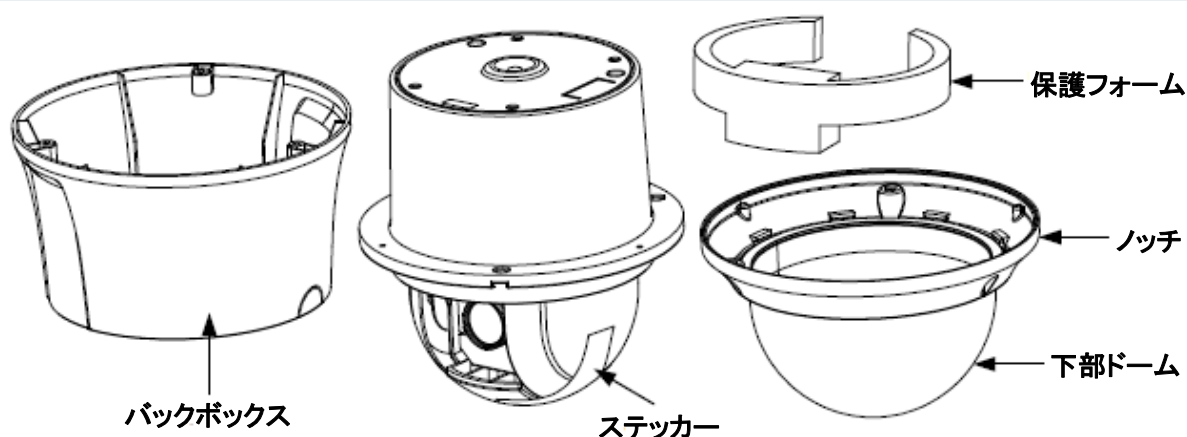


図 2-14 スピードドームの分解

3. トグルボルトを取り付けます。
 - 1) トグルボルトからトグルを取り外します。
 - 2) ボルトをドームのネジ穴に挿入します。
 - 3) ネジ穴にボルトを回します。
 - 4) 図 2-15 に示すように、トグルを再インストールします。

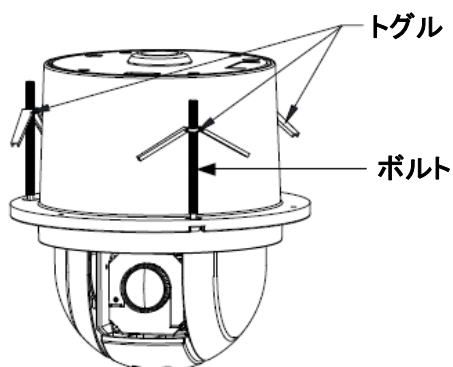


図 2-15 トグルボルトの取り付け

4. トグルボルトを天井のネジ穴に合わせます。
5. ドームを天井の取り付け穴に押し込みます。
6. もう一度ボルトを回してください。トグルが自動的に下に回転し、ドームを天井に固定します。

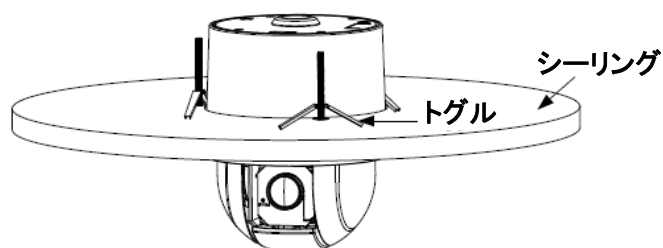


図 2-16 ドームを天井に取り付ける

7. 図 2-17 に示すように、下部ドームを 3 本のネジでバックボックスに固定します。

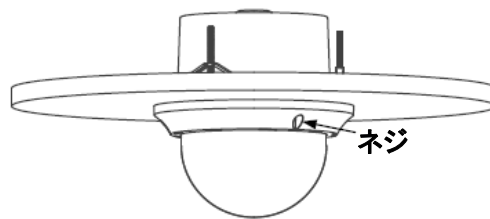


図 2-17 下部ドームの取り付け

8. スピードドームのためにケーブルを天井に通してください。ケーブルを接続するには「1.1 ケーブルの接続」を参照してください。

2.3.2 FH42 ミニ IR スピードドームのインシーリング取り付け

始める前に:

インシーリング取り付けは屋内天井構造に適用されます。マウントするための必須条件は次のとおりです。

- 天井の上のスペースの高さは 250mm 以上でなければなりません。
- 天井は 5~40mm の厚さでなければなりません。
- 天井は、ドームと付属品の重量の 4 倍以上に耐えられるほど強くなければなりません。

手順:

1. アドレス、ボーレート、プロトコルを設定します。詳細な DIP スイッチの設定については、「1.2.4 ミニスピードドームの設定」を参照してください。
2. 天井に穴を開けます。
 - 1) スピードドームを取り付ける必要がある天井にドリルテンプレートを取り付けます。
 - 2) 穴をカットし、ドリルテンプレートに従ってネジ穴をドリルします。



円の直径の±2mm は許容される。

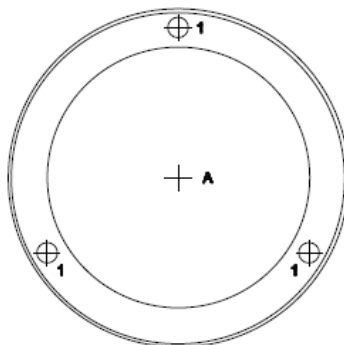


図 2-18 ドリルテンプレート

3. スピードドームのためにケーブルを天井に通してください。ケーブルを接続するには「1.1 ケーブルの接続」を参照してください。
4. トグルボルトを取り付けます。
 - 1) トグルボルトからトグルを取り外します。
 - 2) ボルトをドームの3つのネジ穴に挿入します。
 - 3) 3本のネジ穴にボルトを回します。
 - 4) 図 2-19 に示すように、トグルを再インストールします。

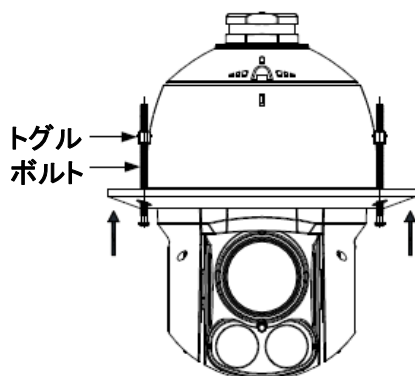


図 2-19 トグルボルトの取り付け

5. トグルボルトを天井のネジ穴に合わせます。
6. ドームを天井の取り付け穴に押し込みます。

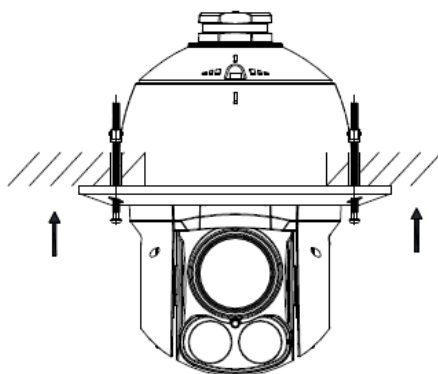


図 2-20 取り付け穴への押し込み

7. もう一度ボルトを回してください。トグルが自動的に下に回転し、ドームを天井に固定します。

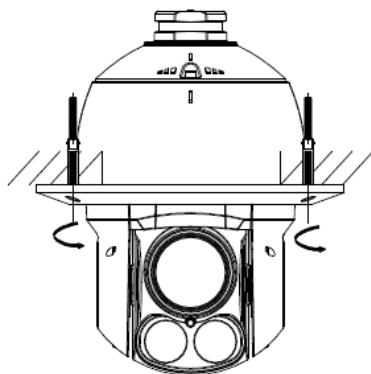


図 2-21 天井へのドームの取り付け

2.4 FH42 ミニスピードドームの天井取り付けアプリケーション

始める前に:

天井取り付けは屋内/屋外の天井構造に適用されます。天井取り付けの必須条件は次のとおりです。

- 天井は 5~40mm の厚さでなければなりません。
- 天井は、ドームと付属品の重量の 4 倍以上に耐えられるほど強くなければなりません。

2.4.1 配線

ドームのケーブルは、図 2-22 に示すように、バックボックスの上面または側面から配線することができます。バックボックスの上部から配線されたケーブルの場合、ケーブル穴を天井にドリルする必要があります。

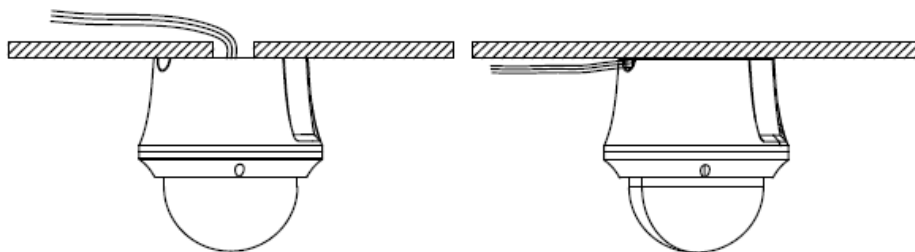


図 2-22 天井へのケーブル接続

2.4.2 天井への取り付け

手順:

1. 天井にネジ穴を開けます。
 - 1) スピードドームを取り付ける必要がある天井にドリルテンプレートを取り付けます。
 - 2) ドリルテンプレートに応じて、ネジ穴とケーブル穴(オプション)をドリルします。

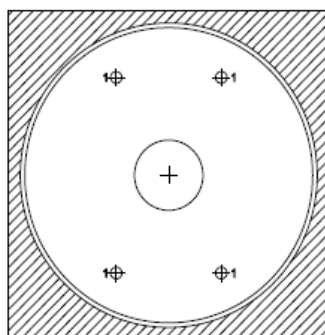


図 2-23 ドリルテンプレート

2. スピードドームを分解してください。
 - 1) ノッチの 3 本のネジを緩めます。
 - 2) 下部のドームを取り外します。

- 3) 図 2-24 に示すように、保護用レンズカバー、フォーム、ステッカーをドームドライブから取り外します。

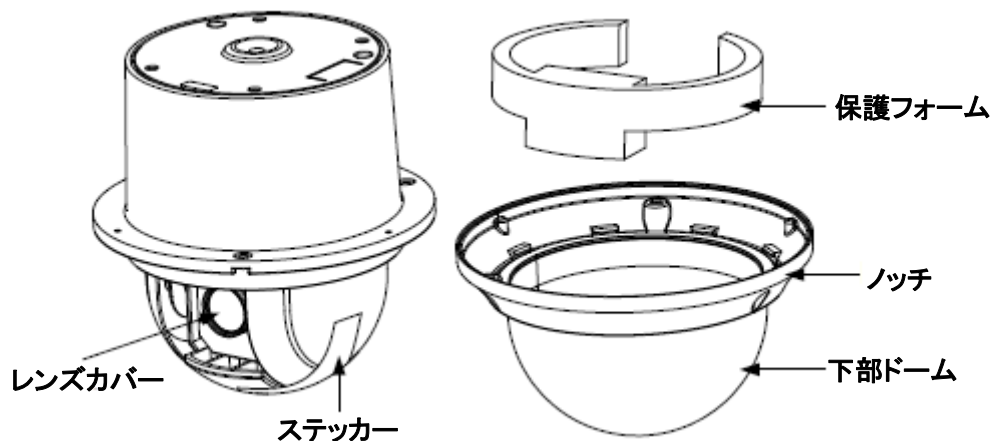


図 2-24 スピードドームの分解

3. 背面のボックスに下部のドームを取り付け、ネジで固定します。
4. 天井マウントをドリルテンプレートのネジ穴に合わせます。ネジ(付属)で天井マウントを天井に固定します。

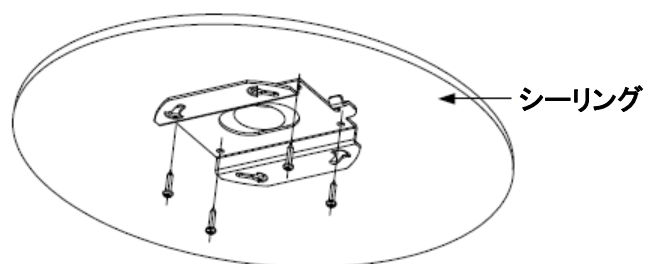


図 2-25 天井マウントの取り付け

5. 天井のフックをスピードドームのロック解除ラベルに合わせます。
6. スピードドームを天井マウントに押し込み、時計回りに回して固定します。

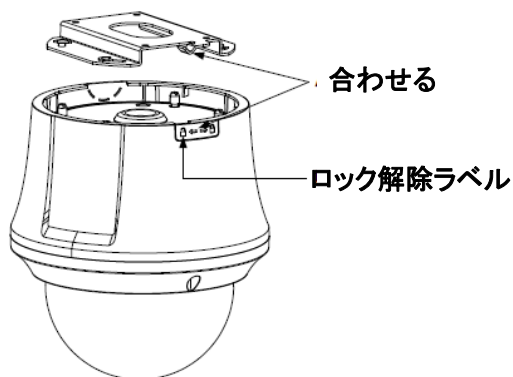


図 2-26 スピードドームの取り付け



- セメントシーリングマウントの場合は、マウントを固定するために拡張ネジを使用する必要があります。壁面の拡張パイプの取り付け穴は、マウントの取り付け穴に合わせてください。
- 木製の天井に取り付ける場合は、ブラケットを固定するためにタッピングネジを使用するだけです。

第 3 章 アプリケーションと操作

3.1 システムアプリケーション

デバイスは、バックエンドデバイスまたは制御ソフトウェアを通じて制御できます。バックエンドデバイスは、制御キーボード、DVR(デジタルビデオレコーダー)などを含み、制御ソフトウェアはクライアントソフトウェアを含む。ここでは例として DVR の接続を取っています。



図 3-1 システムアプリケーション



- スピードドームと DVR の両方が同軸機能をサポートしている場合、RS485 ケーブルは必要ありません。
- HD-TVI ビデオ出力は、特定の HD-TVI DVR にのみ接続できます。

3.2 基本操作

スピードドームが正しく接続されていることを確認し、次の基本操作がサポートされていることを確認してください。

パンとチルト:

方向ボタンをクリックしてスピードドームのパンとチルトの動きを制御します。

ズーム:

ZOOM +ボタンと ZOOM-ボタンをクリックしてズームを制御します。

フォーカス:

FOCUS +ボタンと FOCUS-ボタンをクリックしてフォーカスを調整します。

アイリス:

IRIS +と IRIS-ボタンをクリックして、アイリスを調整します。

プリセットコントロール:

スピードドームはプリセット機能をサポートし、設定可能なプリセット範囲は制御システムによって異なります。No.95 プリセットを呼び出した後、システムメニューがポップアップします。

メインメニューインターフェイスは次のように表示されます。

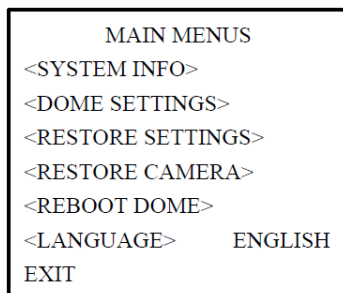


図 3-2 メインメニュー



スピードドームを設定する詳細な手順については、ユーザーマニュアルを参照してください。

3.2.1 パトロールの設定

DVR と OSD メニューでパトロール機能を設定するだけでなく、ワンタッチパトロールを実現することができます。

● DVR によるパトロールの設定

手順:

1. PTZ 制御インターフェイスに入ります。

Menu > Camera > PTZ



図 3-3 PTZ の設定

2. パトロールのドロップダウンリストでパトロール番号を選択します。
3. **設定ボタン**をクリックしてパトロールのキーポイントを追加します。



図 3-4 キーポイントの設定

4. キーポイント番号、1 つのキーポイントの滞在時間、パトロール速度などのキーポイントパラメータを設定します。キーポイントはプリセットに対応しています。キーポイント番号は、パトロールを繰り返しながら PTZ が従う順序を決定します。期間とは、対応するキーポイントに留まる期間を指します。速度は、PTZ があるキーポイントから次のキーポイントに移動する速度を定義します。
 5. **追加ボタン**をクリックして次のキーポイントをパトロールに追加するか、**OK ボタン**をクリックしてキーポイントをパトロールに保存します。
選択したパトロールの**クリアボタン**をクリックするか、**すべてクリアボタン**をクリックすると、すべてのパトロールのキーポイントをすべて削除できます。
- **OSD メニューによるパトロールの設定**

手順:

1. プリセット 95 を呼び出してメインメニューに入り、カーソルを移動してパトロール設定サブメニューに入ります。

MAIN MENU>DOME SETTINGS>PATROLS

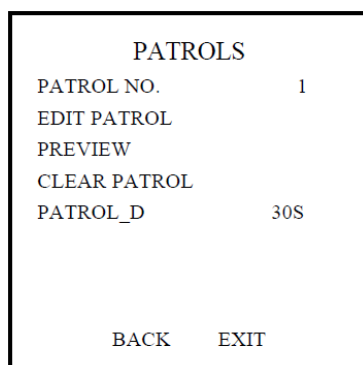


図 3-5 パトロール設定メニュー

2. パトロール番号を選択します。
 - 1) PATROL NO.にカーソルを移動します。IRIS +をクリックして編集モードに入ります。
 - 2) 上下のボタンをクリックして、設定するパトロールの番号を選択します。
 - 3) もう一度 IRIS +をクリックして設定を確定し、この列の編集モードを終了します。



最大 8 回のパトロールを設定できます。

3. パトロールを編集します。
 - 1) カーソルを EDIT PATROL に移動し、IRIS +をクリックして編集モードに入ります。

NUM	PST	DWELL	SPEED
1	0	6	30
2	0	6	30
3	0	6	30
4	0	6	30
5	0	6	30
6	0	6	30
7	0	6	30
IRIS+ OK		IRIS- CANCEL	

図 3-6 パトロールの編集

- 2) 上/下方向ボタンをクリックして番号を選択し、編集するプリセットを見つけます。
- 3) 左/右方向ボタンをクリックして、PRESET、DWELL、SPEED の列にカーソルを置きます。上/下方向ボタンをクリックすると、プリセット番号、滞在時間、パトロール速度の値を設定できます。



パトロール用に設定したプリセットは、ユーザがあらかじめ定義したプリセットにする必

要があります。滞留時間(5~800 秒選択可能)は、スピードドームが特定のプリセットに留まる時間です。巡回速度(レベル 1~40 選択可能)は、プリセット間のスピードドームのスキャン速度です。

- 4) 上記の手順に従って、選択したパトロールの他のプリセットを定義します。パトロールのために順番に最大 32 個のプリセットを設定できます。IRIS +を押して新しい設定を保存するか、IRIS-を押してキャンセルし、前のメニューに戻ります。

4. 定義されたパトロールを呼び出します。

パトロールの編集が終了したらライブビューインターフェイスに戻り、特別なプリセットを呼び出して定義されたパトロールを呼び出します。プリセット 35~38 はパトロール 1~4 を表し、プリセット 102~105 はパトロール 5~8 を表します。

- **クイックパトロールの呼び出し**

ドームは、パークタイム後に、あらかじめ定義されたプリセット 1 からプリセット 32 までパトロールを開始します。定義されていないプリセットはスキップされます。

手順:

1. DVR または OSD メニューでプリセット 1~32 を設定します。
2. プリセット 46 を呼び出してクイックパトロールを開始します。

3.2.2 パークアクションの設定

目的:

スピードドームのある種のモデルでは、ある一定の非アクティビティ(パーク時間)後に自動的に所定のパーク動作(スキャン、プリセット、パトロールなど)を開始するように構成することができます。

- **DVR によるパークアクションの設定**

手順:

1. PTZ 設定インターフェイスの右下隅にあるボタン PTZ をクリックします。

Menu > Camera > PTZ


2.  ボタンをクリックすると、PTZ コントロールのワンタッチ機能が表示されます。



図 3-7 PTZ パネル - ワンタッチ

3. 3つのワンタッチパークタイプが選択可能な場合は、対応するボタンをクリックしてパークアクションをアクティブにします。

パーク(クイックパトロール):ドームは、パークタイム後に、あらかじめ定義されたプリセット 1 からプリセット 32 までパトロールを開始します。定義されていないプリセットはスキップされます。

パーク(パトロール 1):ドームは、パークタイムの後、事前に定義されたパトロール 1 のパスに従って移動を開始します。

パーク(プリセット 1):ドームは、パークタイム後にあらかじめ定義されたプリセット 1 の場所に移動します。



パークタイムはスピードドームの設定インターフェイスでのみ設定できます。デフォルトでは 5 秒です。

4. ボタンをもう一度クリックすると、無効になります。

● OSD メニューによるパークアクションの設定

手順:

1. プリセット 95 を呼び出してメインメニューに入り、カーソルを動かしてモーションパラメータ設定サブメニューに入ります。

MAIN MENU > DOME SETTINGS > MOTION SETTINGS

MOTION	
AUTO FLIP	ON
PROPORTIONAL PAN	ON
PARK TIME	5
PARK ACT	NONE
SCAN SPEED	28
IMAGE FREEZE	OFF
DOMESPEED	6
BACK	EXIT

図 3-8 PTZ の設定

2. **PARK TIME** にカーソルを移動し、5~720 秒の範囲で値を設定します。
3. **PARK ACT** にカーソルを移動し、プリセット 1-8、パターン 1-5、パトロール 1-10、パンスキャン、チルトスキャン、ランダムスキャン、フレームスキャン、パノラマスキャン、デイモード、ナイトモード、パトロール-d、またはなしのいずれかに設定できます。



次のような状況で、パーク時間の後に制御信号が受信されない場合、特別なプリセットを呼び出すことによってドーム動作を実行する過程で、パーク動作は実行されません。

第 4 章 トラブルシューティング

4.1 デバイスの異常

質問:

スピードドームが起動しない、または再起動が繰り返されないのはなぜですか？ 夜間に PTZ を制御したり、プリセットを呼び出したり、IR ドームの赤外線ランプを点灯させたりすると、スピードドームが断続的に再開するのはなぜですか？

回答:

- ドームの電源電圧を確認してください。電源電圧がスピードドームの電力要件を満たすようにしてください。最も近い電源を推奨します。
- 電源線の直径が基準を満たしているかどうか確認してください。

4.2 PTZ コントロールの異常

質問:

スピードドームは PTZ 制御ができませんが、ズーム制御は可能です。

回答:

- 5 インチスピードドームの場合、バブルを開けてカメラモジュールの保護シールとバブルを取り除き、スピードドームを正しく取り付け直してから配線してください。
- 赤外線スピードドームの場合は、保護シールを外してからワイヤを引き上げてください。

質問:

スピードドームには、ズームコントロールも PTZ コントロールもありません。

回答:

- ドームの電源電圧を確認してください。電源電圧がスピードドームの電力要件を満たすようにしてください。最も近い電源を推奨します。
- 電源線の直径が基準を満たしているかどうか確認してください。

4.3 その他の質問

質問:

スピードドームのプレビュー画像がはっきりしていません。

回答:

- バブルの保護膜が除去されているかどうか確認してください。
- バブルやレンズに異物が付着していないか確認してください。
- 近くのスパイダーウェブなどの障害物がある場所を確認してください。
- バブルを開き、レンズカバーが取り外されているかどうかを確認します。
- デバイスをデフォルト設定に復元します。プリセット 95 を呼び出して OSD メニューに入り、カメラの復元を選択します。

質問:

IR スピードドームの場合、夜間に IR ランプが点灯すると、画像は異常な白です。

回答:

- レンズの近くに障害物がないかどうか確認してください。壁、葉、スパイダーウェブ、ケーブル等のような、光の反射による過露光の原因となります。必要に応じて障害物を取り除きます。

質問:

屋内で作業する場合、スピードドームはピントが合いません。

回答:

- 誤った設定の要因を除外するために、デバイスをデフォルトに戻してください。
- OSD メニューから画像設定を行うことで、装置の最小焦点距離を短くすることができます。